

様式第6号(第6条関係)



平成28年4月4日

(宛先) 安曇野市議会議長 濱 昭次

会派名 無所属  
代表者氏名 濱 昭次  
経理責任者氏名 濱 昭次



平成27年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、平成27年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

(単位:円)

項目	決算額	備考
政務活動費	37,500	平成27年11月1日より
合計	37,500	

支出の部

項目	決算額	備考
セミナー受講料	15,000	1月21日分
地方議会議員フォーラム参加費	20,000	3月25日分
交通費(JR)	2,500	松本~東京都内2回計20,900円の内2,500円を充当した
合計	37,500	

2 収入支出差引残高 0 円

備考

- 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 政務活動実施状況(別紙)を添付すること。

## 別紙

## 政務活動実施状況

活動名	「公共施設の再編問題とコンパクト化」セミナー参加	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	人口減少時代における自治体財政を安曇野市に於いて考える時、旧5町村が有した公共施設の再編は重要性が高く、コンパクトシティ化と共に学ぶ	
活動の概要	日時	28年1月21日(木)から 年 月 日( )まで 14時00分から 16時30分まで
	研修先・主催者等	地方議員研究会主催セミナー(東京アットビジネスセンター)
	報告内容・実施したこと。	安曇野市に於いて、5町村が対等合併した為各地域の同様の施設白書がまとめられ、それらの今後の再配置利用計画は人口減少時代に財政的な面から大変な負担が発生する。 この事から、施設の再編を考える時どの様な視点に立って進めて行けば良いのか、森 裕之立命館大学政策科学部教授の講演を聞き今後の安曇野市が取るべき方向性を考え、行政に問いかける。 1、公の施設の本来有する福祉目的と、市民が公平に交流促進が図られる事。 2、行政効率とマネジメント～維持と持続 3、融和～地域エゴを排除～例えば学校の統廃合等 4、ビジネスを通じ社会的貢献に取り組む企業等が重要な内容であった。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	同僚議員同志、一般質問等にて行政に問いかけている段階であるが、公共施設再配置計画は出されたが現段階では我々の提案に応える状況まで達して居ないとの事である。 今後も、この課題には率先して提言して行く。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

## 別紙

## 政務活動実施状況

活動名	地方議会議員フォーラム2016	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議会改革を議長選挙公約に掲げた故に、その必要性・重要性に照らし浮かんで来る課題と方向性を研修する。(先進事例発表有り)	
活動の概要	日時	28年3月25日(金)から 年 月 日( )まで 13時00分から17時00分まで
	研修先・主催者等	主催 公益財団法人 日本生産性本部 共催 早稲田大学マニフェスト研究所
	報告内容・実施したこと。	安曇野市制施行10周年を過ぎ、議会が基本条例を制定し次の10年、20年に向かってまちづくりを住民目線で進めていくうえで今回の先進事例から学ぶ議会改革は参考になり研修時期から、これから生かしてゆく。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	議運と議会改革推進委員会に諮問した内容 1、 議員定数、報酬、政務活動費の見直し 2、 議会基本条例に、総合計画・基本計画・実施計画・都市計画・総合戦略等を議決事項にすることをうたう事を検討していくのに、岩手県滝澤市の事例、福島県会津若松市の事例は大変参考になる。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。